

知っていますか？

「お」と「ご」の使い分けのルール



友

音読み
とユウ
もウ

安

音読み
やアン
すい

「お酒」「お薬」「ご両親」「ご安心」のように、名詞の前に「お」や「ご」をつけて 美しく上品にいう語のことを美化語と言います。私たちは、無意識に「お名前」「ご氏名」と使い分けていますが、「違いは何ですか」と外国人から質問されたら、どのように答えますか？

たとえば、名前、友だち、住まい、これらは、もともと 日本で使われていた ことばで、ひらがなや漢字の訓読みで表されます。これを和語と言います。美化語にすると、お名前、お友だち、お住まいとなります。氏名、友人、住所、これらは音読みの漢字で表されます。音読みは 中国から入ってきたことばで漢語と言います。美化語にすると、ご氏名、ご友人、ご住所 となります。

使い分けのルールは、「お」がつくのは「和語(訓読み)」。「ご」がつくのは「漢語(音読み)」となります。例外もあるので、気になるときは、ネットなどで調べてください。



Report 上山小学校とIndia International School in Japan との交流授業 2025.1.24(金)



「国際理解の授業枠で、インターナショナルスクール(※以下、IISJ)の子どもたちと国際交流がしたい！」という上山小学校の先生からの電話から始まった、この企画。上山小学校から 27人の児童たちが IISJ(50人)に出向き、一堂に会しました。

自己紹介の後、自分の国の遊びを紹介し、相手の国の遊びを体験。慣れない遊び、慣れないコミュニケーション。「言葉が通じないのは当たり前。伝わった体験を持ち帰ろう。」という目標を立てた、日本の子どもたち。準備してきた説明もすんなりとは伝わらない様子でしたが、相手も同じような気持ちなのかな？授業の時間も終わりに近づいてきた頃、「帰りたくない！」という声が双方から上がりました。最後はみんなで一緒に記念撮影！涙を流す子どももいました。恥ずかしい気持ちも、楽しかった思い出もお互いに持ち帰れたようです。

ラウンジから

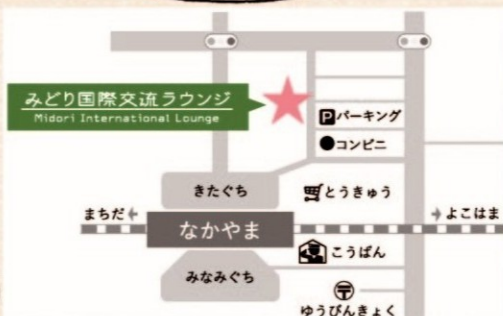
【休館日変更のお知らせ】

2025(令和7)年4月から
国民の祝日 も休館日となります。



発行:みどり国際交流ラウンジ
横浜市緑区中山1丁目6-15 パームビュービル 5階
TEL: 045-532-3548 FAX: 045-532-3549

Mail: info@midori-lounge.com
開館時間: 9:30~18:00 (水曜日 9:30~21:00)
休館日 4月1日から日曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)



みどり国際交流ラウンジは、横浜市緑区の委託を受けてNPO法人みどり多文化共創の会が運営しています。



2025年
3月発行

vol. 13

スペシャルトーク

色々な国の人々が緑区で暮らしに馴染めるようなイベントや講座をお知らせします！

みんな違うから面白い！

たがいを することから始めましょう

1月25日に「アジアの女性と子どもネットワーク(AWC)代表、マリ・クリスティーヌさんの講演会が行われました。テーマは「世界の異なる文化を理解しよう」。そのほんの一部をご紹介します。



「自分たちとは違う文化や風習を、自分たちの価値観で判断してはいけません。まずはお互いの違いを知り、その上でどう振る舞うかが重要」とのこと。まずは私たちの「当たり前」をいったん切り離して、相手の価値観を知ることから始めたいもの。「相手を好きになることも大事です。例えば他人だったら許せないことでも、友だちなら許せることがたくさんあるでしょう」。マリさんのお話には「その通り！」と感じることばかり。「みんなが同じ考え方をしていたら進歩はありませんし、つまらないですよ。良いことも悪いことも影響し合うから楽しいんです。異文化理解は、異文化ガマンとも言えます。「自分たちが正しい」と思っても、相手のことを理解しよう、尊重しようという気持ちを持ち続けてください。お互いに言いたいことを言い合える関係になることが、真の異文化理解につながります」。

子どもの栄養不足を解決する給食も支援。書き損じハガキ2枚で3食分の食料費に(写真提供/アジアの女性と子どもネットワーク)。詳しくは『アジアの女性と子どものネットワーク』へ。https://www.awcnetwork.org ○マリ・クリスティーヌさん/1996年にAWCを創設し、代表を務める異文化コミュニケーター。国連ハビタット親善大使を経て、現在は東京女子大学客員教授、2020年10月より東京都つながり創生財団の理事長に就任。





日本語教室@緑区 におじゃまして〜す!

「仕事へつながる日本語」を学ぶひとたちで大盛況 ~日本語教室あいうえお(十日市場地域ケアプラザ/火曜)~



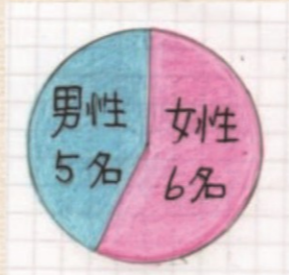
霧が丘団地から近いこともあり、インド人の学習者が多いのが特徴です。こちらの教室で大切にしているのは「学習者ファースト」と「学習者をリスペクトする」こと。学習者のみなさんは日本での生活に必要なことや、仕事をするために欠かせない言葉を熱心に学んでいます。

代表 鈴木幸恵さん



ボランティアの男女比はほぼ半々

男性は定年退職した60~70代が中心、女性は時間が自由になる40代~。



アンジェリー・ハリースレアさん(インド)



2024年2月に夫と来日。ここはインド人が多くて友だちもすぐにできました。話をするのが楽しいです。



2021年に夫と来日。インドではITエンジニアとして働いていました。日本でも同じ仕事に就きたいです。



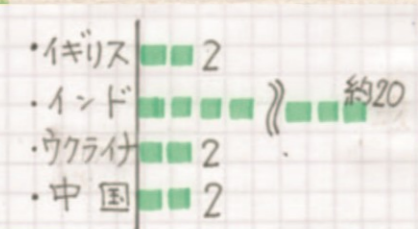
グループレッスンで学ぶガヤトリさんとモゲさん。「学びたいことをやさしく教えてください」(モゲさん)。

副代表 藤田信五さん



ガヤトリ・ガネーシュさん(インド)

学習者の8割はインドから



開催が平日の午前中のため、主婦や求職中の方が多いそう。なかには赤ちゃん連れで学習する人も。

海外に駐在していたとき、現地の方にとってもお世話になりました。その恩返しをしたくて2012年からボランティアを始めました。

リレートーク

ベトナム語 語学ボランティア

山本バンさん



今から3年前、みどり国際交流ラウンジのfacebookでボランティア募集を見て、通訳ボランティアに登録させていただきました。そして最近、緑区にある小学校に通うベトナムから来た子どもに、母語支援をすることになりました。

私は、日本でお母さんになりました。妊娠のこと、今は大学生になった私の子どもが体験してきたこと、私は色々な経験をしてきました。

学校での支援で、外国から来た親と子ども達に役立つことになれば楽しいです。



学校に行った時は、学校の先生に外国の学校の文化とかも時々話します。どうすれば学校と家族が分かり合えるようになり、子ども達の成長の為にどんな協力ができるかをいつも大事にしています。外国から転校して、言葉や学校のきまり、生活が全然分からないので、子ども達はとても大変だけど先生達も同じぐらい大変だと思っています。その場合は、真ん中に入って話し合うことができる誰かがいれば助かるかもしれません。

毎回、転校生の笑顔がちょっとずつ増えると、心は温かくなってきます。保護者達も、子どものことが心配でいっぱいだと思います。でも、同じ言葉話す誰かが学校と一緒に勉強する、学校の生活を案内してくれれば安心になります。

私はいつまで学校支援のボランティアが出来るかまだ分かりませんが、ずっと続けたいです。



多文化共生かるた <生活習慣編>

「元号と西暦二つもあってむずかしい」



多文化共生かるたは ラウンジ HP からダウンロードできます

今日日本では、公的文書や役所に提出する書類は、ほとんどの場合が元号(和暦)で年度を表記します。日本人でも、迷うことがあるのに、外国人ならなおさらです。元号と西暦、2種類の表現があることも日本語はむずかしいと感じることのひとつのようです。ところで、西暦以外の暦を使うところは日本だけではありません。知り合いのタイ人が「タイには仏暦がある」と言って、タイのカレンダーを見せてくれました。なんと2568年と書いてありました。これは、お釈迦様の生誕年を元年とし、西暦よりも543年分大きな数字になるとのこと。2568-543=2025なので早見表がなくても簡単に計算できますね。

